

令和6年度 自主研修会

10月18日(金)、のいちふれあいセンターにおきまして、令和6年度自主研修会を開催しました。

藤宗本澤法律事務所の藤宗正志さんを講師にお迎えし、「法的リスクを避けるカスタマーハラスメント～弁護士が教える実践ガイド～」と題して、ご講演いただき、会員・市職員35名が参加しました。

カスハラの基本知識から始まり、避けるべき法的リスク、カスハラへの認識・見極め・種類・特徴について学習しました。その後、事業所としての対策や顧客に対する対策などさまざまなカスハラ対策について学習しました。そこでは「現場任せにせず、事業所として対応すべき問題と認識すべきである。」というもので、カスハラ対策は個人だけでなく、組織としても取り組まなければならないことを再認識しました。



●自主研修会の様子

香南市人権啓発フェスティバル

11月23日(土)に香南市人権啓発フェスティバルが開催されました。『手話』をテーマに、手話エンターテイメント発信団 oioi (オイオイ) による楽しい手話ワークショップを始め、人権作品の表彰式・展示、こども食堂などさまざまな販売・展示が行われ、約300人の方々にご来場いただきました！



手話を使って...
イエーイ!!(家) 

部落解放研究第57回全国集会

11月19日・20日の2日間にわたって、兵庫県神戸市にある神戸国際展示場にて部落解放研究第57回全国集会が開催されました！

1日目の全体集会では、記念講演と地元報告が行われました。そこでは、障がい者と「ともに生きる社会」についてお話をいただき、当事者として体験したこと、考えたことなど、みんなが暮らしやすい社会にするための学びとなりました。

2日目の分科会では、部落問題や同和・人権教育、部落差別事件など課題別で第5分科会までありました。そこでは、自治体や団体の課題への取組みについての報告を聞きました。新しく知ることが多々あり、知識等を深めることができ、非常に有意義なものとなりました！

第75回全国人権・同和教育研究大会

11月30日・12月1日の2日間にわたって、福岡県・熊本県・鹿児島県にて第75回全国人権・同和教育研究大会が開催されました！

1日目の全体集会では、地元特別報告が行われ、若手教員による同和教育・人権教育の歩みとこれからの展望についてのお話がありました。

2日目の分科会では、学校教育部会、社会教育部会、特別部会に分かれ、各テーマに沿った活動報告や意見交流会があり、盛り上がりを見せました。

ある事務局員の独り言

10月から12月にかけて、様々な行事がありました。

10月には自主研修が開催され、受講者35名と多くの参加者が集まり、大変嬉しく思います！おそらく、カスタマーハラスメントというテーマが皆さんにとって関心のあるテーマだったのだと思います。

11月には部落解放研究第57回全国集会と香南市人権啓発フェスティバルがありました。初参加・初出張業務で楽しみと緊張が入り混じった部落研全国集会では、県外の方の活動報告や課題を生で聞くことができました。人権啓発フェスティバルでは、予想以上にこども達が来場しており、手話ワークショップやこども食堂などを楽しんでいる様子を見ていて、嬉しい気持ちになりました！

12月には第75回全国人権・同和教育研究大会がありました。そこでは、『**当事者**』がキーワードとなり、諦めず当事者に寄り添い続けなければならない、ということ学びました。また、報告後の意見交流会では、それぞれの熱い想いを持った方々の意見に「私も言わなければ！！」という気持ちに駆られ、実体験を交えながら、若い方の人権意識の現状や今後の人権啓発の展望について緊張しながらも発表させていただきました！！

余談ですが、会場が豚骨ラーメンの発祥地である久留米市だったので、お昼には久留米ラーメンを食べました！強烈なとんこつ臭に驚きながら麺をすすりましたが、非常に美味しく、その後の業務も頑張れました！

